

# 市民建産常任委員会報告書

令和 5 年 11 月 28 日

委員長 中野 敦史

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和 5 年 10 月 27 日、11 月 1 日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

## 市民部

### 環境課

**環境整備係**から、令和 4 年度分市の事務事業に係るエネルギー使用量等確定値、地域猫活動に関する取組、「KOGA 環境ひろば」の開催等について報告がありました。

**委員**から、地域猫クラウドファンディングの当初目標額と、集まった 133 万円の用途は、との問いに、目標金額は 150 万円、寄付金は飼い主のいない猫の不妊・去勢手術とワクチン接種の費用に充当する予定とのこと。

**資源循環推進係**から、廃食油回収ボックスの設置について報告がありました。

**海津木苑**から、し尿処理状況、令和 5 年度汚泥再生処理センター整備事業、海津木苑落成式について報告がありました。

**委員**から、海津木苑完成前に既に福津市からし尿等が搬入されている経緯の説明と、現時点での稼働率及び本格始動した際の処理能力の見込みは、との問いに、施設の性能試験のために、請負業者による費用負担で 9 月 4 日から 9 月 29 日の間、福津市から搬入したとのこと。また、現時点での稼働率は 50%強であり、本格始動した際の処理能力は 1 日当たり 52k1 とのこと。

### 市税課

**市税課**から、特定小型原動機付自転車の登録について報告がありました。

**委員**から、電動キックボードは軽自動車税に該当するか、また税金はいくらか、との問いに軽自動車税に該当し、年税額は 2,000 円とのこと。

### 市民国保課

**市民係**から、コンビニ交付サービス手数料減額の実施について報告がありました。

**委員**から、コンビニ交付で、代理申請はできるか、との問いに、同一世帯の家族であれば可能とのこと。また、手数料減額により見込まれる収入減にどう対応するのか、との問いに、コロナ交付金での補填を考えているとのこと。

**国保係**から、Web 申請（届出）を可能とする手続きの拡大について報告がありました。

**委員**から、Web 申請の拡大は、業務効率化に繋がっているのか、との問いに、手続きのための来庁が難しい方への対応が、HP への案内で済むこともあり、Web 申請の実績が現時点で昨年度の約 3 倍弱であることから、業務は効率化していると考えられるとのこと。

**年金・医療係**から、子ども医療の就学前までの無償化の実施について報告がありました。

## 人権センター

人権教育・啓発係から、人権教育・啓発事業、人権相談事業、及び人権関係団体活動推進事業について報告がありました。

委員から、校区人権啓発研修会の日程はどのように案内されているのか、回覧文書の作り方の工夫などして参加者の増加につなげるべきでは、との問いに、地区推進部会で日程を決め、独自で回覧文書を作成する校区もあるが、希望のある場合は人権センターで作成している。周知については、代表区長とすり合わせを行い、多くの市民が参加できる形をとりたいとのこと。

また、「そうだん 5」へ寄せられる相談には、人権問題だけでなく、家庭問題、近隣トラブル、学校教育・社会教育の隠れた相談もあると考えられるが、横の連携は取られているか、との問いに、相談をうけた擁護委員が内容に合わせた相談場所を紹介している。子どものいじめ問題については SOS ミニレーターというシステムがあり、高齢者については、どんなことでも相談に来て下さいといった案内をしている。全世代に力を入れていきたいと考えているとのこと。

男女共同参画・多様性推進係から、男女共同参画推進事業及び性的マイノリティ支援事業について報告がありました。

## 収納管理課

収納管理係から、令和 5 年度の収納状況及び滞納処分状況について報告がありました。

委員から、差押処分はどのように行っているのか、また、厳しい家計状況でも、全て回収するためにファイナンシャルプランナーなどの活用も検討するべきでは、との問いに、不動産・家屋・土地等々に関しては、登記所に差押の処分を入れ、それでも完納されない場合は、競売になるが、ここ数年、競売には至っていないとのこと。また、ファイナンシャルプランナーについては、現在 17 回の相談があり、滞納者の収支の見直し等を行い、納税につなげたいとのこと。

## 建設産業部

### 農林振興課

農林振興係から、「農家直売！軽トラ市」の開催について報告がありました。

農政係から、クラウドファンディング型チャレンジ支援事業について報告がありました。

農林土木係から、農業用施設管理事業、農業基盤整備促進事業、及び防災力強化事業について報告がありました。

その他として、野生動物緩衝林整備事業について報告がありました。

## 商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、新事業創出促進補助金、JR 古賀駅西口エリア活性化事業、まつり古賀、古賀市観光・物産・情報発信推進委託、古賀市観光ブランディング支援委託について報告がありました。

委員から、消費生活センターへの相談に対し、関連部署と連携した解決方法をとっているか、との問いに、関係課や県の相談員等、適宜、適切な機関につないで解決を図っているとのこと。

また、悪徳商法の周知・啓発と、対応職員の人員体制は、との問いに、周知・啓発については、現在、出前講座や大学のオリエンテーションにて努めているとのこと。また、毎年研修を受けている対応相談員との定期的な交流を通して、職員も見識を深めているとのこと。

JR 古賀駅西口エリアにおけるハロウィンイベントのターゲット及び参加人数、参加者層は、との問いに、ターゲットは子どもを中心にその家族であり、子どもの参加人数は 110 名超、その家族等大

人を含め全体で 300 名程、とのこと。

ハロウィンイベントのような学生との連携事業はどのようにして始まったのか、との問いに、エリアマネジメント委託の中で、若い世代との地域活性化を求め、市と連携を結ぶ学校や近隣の学校への声掛けにより始まった、とのこと。

古賀市観光ブランディングのめざすものは何か、との問いに、誰もがイメージできる「古賀市といえば〇〇」を通して、古賀市の魅力の更なる発信をめざしているとのこと。

**事業者支援係**から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附、電気・ガス料金高騰対策事業者支援金、企業見学バスツアーの実施について報告がありました。

**委員**から、無料職業紹介所について、求人件数に対して就職決定者数が少ないのではないかと、障がい者や、ひとり親家庭、特に、生活保護者においては、より積極的に応援すべきではないかと、との問いに、事業者・求職者、双方の意見を丁寧に聞いており、要望の違いでマッチングしにくい状況もある中で、企業見学バスツアーのような新たな取組等を行い、雇用拡大を進めている、とのこと。福祉部門とも連携しており、無料職業紹介所を通じて、双方の意見を尊重したマッチングに今後とも努めていきたいとのこと。

ふるさと応援寄附について、例年寄附額が上がる年末に向けた施策や新商品は、との問いに、今年度新商品の中でも特に、昨年度よりさらに 4 種類追加した「おせち」に期待できるのではないかと、とのこと。

次世代との関わりの強い事業への商工政策課の想いは何か。また、古賀市のブランディングに関しての根本の考えは何か、との問いに、次世代の方が、企画・運営に携わることで、体感した古賀の誇る食のまち、ものづくりのまちを財産にしてほしいと考えており、次世代にどう伝え、考えてもらうかという連携を強く意識している。事業展開において、参加者の意見を集め、事業を磨いていくことも、ブランドであると考えている、とのこと。

## 建設課

**土木係**から、主要な事業の進捗状況、千鳥駅東口駅前広場整備について、花見佐谷線整備事業について、西鉄跡地に関する地元説明会及び対話集会について報告がありました。

**委員**から、西鉄宮地岳線跡地について、9 月 30 日に開催された古賀南区地元説明会において、古賀南区以外の方を入場させなかったのはおかしいのではないかと等の問いに、過去の経緯を踏まえ、説明会の対象区民が萎縮せずに意見を述べられるよう、行政区長との相談の上での設定であり、適切な対応であったと考えるとのこと。

一方、他の委員からは、南区の回覧板にて案内を行ったにもかかわらず、区民以外から人が押し寄せた原因は何かあったのか、ある区での説明会で、区外の方の声の大きさに、萎縮したとの話を聞いたことがあるが、本来は、行政区民に説明し、意見を聞くことが一番大切である。12 月に開催される南区地元説明会においても、対象区民を優先すべきと思うが、どのように考えているか、との問いに、南区民に向けた回覧文書が修正・追加されて出回っており、工事について意見のある方が押し寄せたと考えられる。12 月の説明会については、これから区長と協議をした上で設定したいとのこと。

**管理係**から、県事業工事予定箇所、舞の里 3 丁目地内植樹樹土壌調査業務委託について報告がありました。

**委員**から、舞の里 3 丁目地内植樹樹土壌調査でグリホサートが検出された事について、民事的な対応はどのように考えているか、との問いに、現在、捜査中であり、原因者が特定された場合には、損害賠償請求等を検討する、とのこと。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗について報告がありました。

委員から、地籍調査について、権利者の他に閲覧できる対象は、との問いに、所有者もしくは相続人、及び所有者から委任を受けた方とのこと。

## 上下水道課

総務・上水道管理係から、令和5年度古賀市上下水道事業経営等審議会及び上下水道ラボについて報告がありました。

下水道係から、令和5年度の工事箇所について報告がありました。

委員から、上下水道ラボについて、去年に引き続き、多くの子どもが楽しんでいる。どのようなイベントに人気があり、これらをどのように捉え次に活かすのか、との問いに、水中のシャボン玉づくりや、マンホール缶バッジ作り、輪投げ、微生物の観察などが人気であった。内容については、参加者から水に対し興味を持たれるよう、毎年少しずつ変えており、来年度に向けても検討していきたいとのこと。

## 都市整備課

都市計画係から、都市計画道路野口髭園線の廃止、「福岡県都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」に基づく区域指定、新原高木地区の地区計画について報告がありました。

開発指導係から、マンション管理適正化推進計画について報告がありました。

委員から、マンションの管理適正化推進計画とは、マンションの大規模改修等含めて管理が出来ず破綻している所が多いといった現状に対しての計画なのか、また、古賀市の現状を含め、どのような背景か、との問いに、マンションの管理の適正化の推進に関する法律の改正の背景は、管理不全が出てきている状況の是正に向けた取組の一環であると考えている。問題が顕在化する前に、計画をしっかりと立て、大規模改修や建て替えに備えてほしいという趣旨である。古賀市内分譲マンションについては、全部で37棟と把握しており、管理組合の現状がどうなのかということ調べるためアンケートを行っているとのこと。

公園・緑地係から、業務委託の入札結果、遊具等公園内施設点検業務委託結果と対応について報告がありました。

委員から、遊具等公園内施設点検業務委託結果の遊具撤去後の対応について、協議中とあるものは、誰と協議をしているのか。また、地元区等の「等」とはどういった意味なのか、との問いに、協議については、地元行政区長と協議をしている。また、「等」という字は、グリーンパークのような大規模公園については地元区との話はせず、内部で協議をするため使用しているとのこと。

以上、市民建産常任委員会の議会閉会中の所管事務調査の概要報告を終わります。